

特集 生活行為向上マネジメント活用の効果と実用性

|                                     |       |
|-------------------------------------|-------|
| 生活行為向上マネジメントの概要と適応                  | 石川隆志  |
| 通所リハ・訪問リハでの活用の実際                    | 谷川真澄  |
| 入所施設(老人保健施設)での活用の実際                 | 三浦 晃  |
| 生命を尊ぶリハビリテーションだから—生活行為向上マネジメントの可能性— | 葉山靖明  |
| 急性期(早期医療)での活用                       | 長谷川敬一 |
| 生活行為向上マネジメントの普及に寄せる今後の展望            | 土井勝幸  |

※都合により誌面が変更される場合がございます。

●編集名誉顧問

大田仁史 澤村誠志  
米満弘之

●編集顧問

石川 誠 浜村明徳

●編集委員

栗原正紀(編集委員長)  
伊藤隆夫 佐藤浩二  
西脇恵子 山下裕子  
渡邊慎一

●編集同人

浅海奈津美 有賀 徹  
伊佐地隆 石松隆和  
伊藤貴子 岩崎千佳  
上菌紗映 生方克之  
逢坂伸子 大越 満  
太田秀樹 大武美保子  
岡田しげひこ 乙坂佳代  
加来克幸 寛 淳夫  
加藤武彦 金子 寿  
川越雅弘 木下康仁  
桑山浩明 小林直樹  
齋藤正洋 榎原次郎  
座小田孝安 佐藤久夫  
鈴木孝治 武原光志  
玉垣 努 角町正勝  
土井勝幸 中村哲治  
野尻晋一 橋本美芽  
長谷川幹 畑野栄治  
半田理恵子 東川悦子  
備酒伸彦 廣末ゆか  
福田俊江 古屋 聡  
丸山 泉 水間正澄  
宮崎宏興 宮田昌司  
村井千賀 村上重紀  
森岡悦子 柳 尚夫  
山川百合子 山口晴保  
若林秀隆

●査読委員

稲川利光 梅津祐一  
金城利雄 阪井康友  
澤 俊二 野崎園子  
備酒伸彦 松坂誠應  
水間正澄

●編集後記

本号の特集に関連して訪問看護師の立場から災害支援についての認識を深めるため、東日本大震災の時に訪問看護師が体験した現場の記録をまとめた本『災害に立ち向かった看護師達の記録—その時訪問看護ステーションは』(全国訪問看護事業協会、2012)を読み返しました。この災害で約2万人もの尊い命が犠牲になりました。その中で訪問看護の仕事中に津波にのまれ、2人の看護師が亡くなりました。その他にも自分自身が被災者となりながらも泊まり込みで利用者を守ったり、利用者やその家族らが亡くなる様子を目撃したり、瓦礫の中から利用者の遺体を発見したり、利用者を救助し自分が代わりに被災したり、救助と避難の狭間で葛藤した出来事などが掲載されています。被災された現地では、多くの訪問看護ステーションが事務所の倒壊、訪問用車両のガソリンの入手困難、スタッフやその家族の被災、多くの災害犠牲者発生による利用者の激減など過酷な状況の中から訪問看護を再開していった様子も語られており、どん底からでも這い上がる力強さを感じました。訪問看護は看護の対象者の生活の場に向かいに行く看護活動であるため、自分自身が災害に巻き込まれる可能性があると同時に、災害において最も早く医療や看護を提供できる立場にあります。また災害リハ支援システムにおけるチームの中で訪問看護は地域の実情や地理に詳しく、利用者それぞれの現状を把握している強みがあります。年月の経過は早いもので東日本大震災から4年目となりますが、いまだに11万4,000人以上が避難所や仮設住宅での生活を余儀なくされ、避難生活で体調を崩し、それが原因で亡くなる人たちの震災関連死も大きな社会問題となっています。災害によって受ける災いは一人ひとり異なります。災害に対して組織としてかかわるとともに、少しでもその人らしい生活に近づけられるようなかかわりをするためには訪問看護の果たす役割は大きいと思います。2014年は夏から秋にかけての豪雨、広島県の土砂災害、御嶽山の噴火、長野県北部で起きた地震など自然災害が多発しました。また近年叫ばれている南海地震が発生すると甚大な被害が出る予想されています。災害を防ぐことは困難なことです、被害をできるだけ少なくするよう、今までの災害で身をもって伝えていただいた教訓を生かし、災害時の地域看護の担い手としての役割を実践できるように取り組んでいきたいと思ひます。

編集委員 山下裕子

第10巻第2号[通巻107号] 2015年2月15日発行(毎月1回15日発行)

地域リハビリテーション 2月号

1部定価(本体1,800円+税)  
2015年年間予約購読料(12冊) 21,600円+税(送料弊社負担)

発行 | 株式会社三輪書店 代表者: 青山 智  
(担当: 大島・木次谷)  
〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9 本郷綱ビル  
Tel 03-3816-7796 / Fax 03-3816-7756  
URL <http://www.miwapubl.com>  
郵便振替 00180-0-255208

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.  
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, ©2015, Printed in Japan

表紙・本文デザイン | 白井弘志(公和図書デザイン室)  
印刷 | 三報社印刷(株) Tel 03-3637-0005  
広告 | (株) メディカルブレーン Tel 03-3814-5980

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつと事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。